GUI meeting

2021年8月5日(木) 廣瀬千晶

目的　IMCの鏡にASCを導入する。

解析計算とシミュレーションで比較。

・シミュレーションPITのCOMDIFの方向を逆。

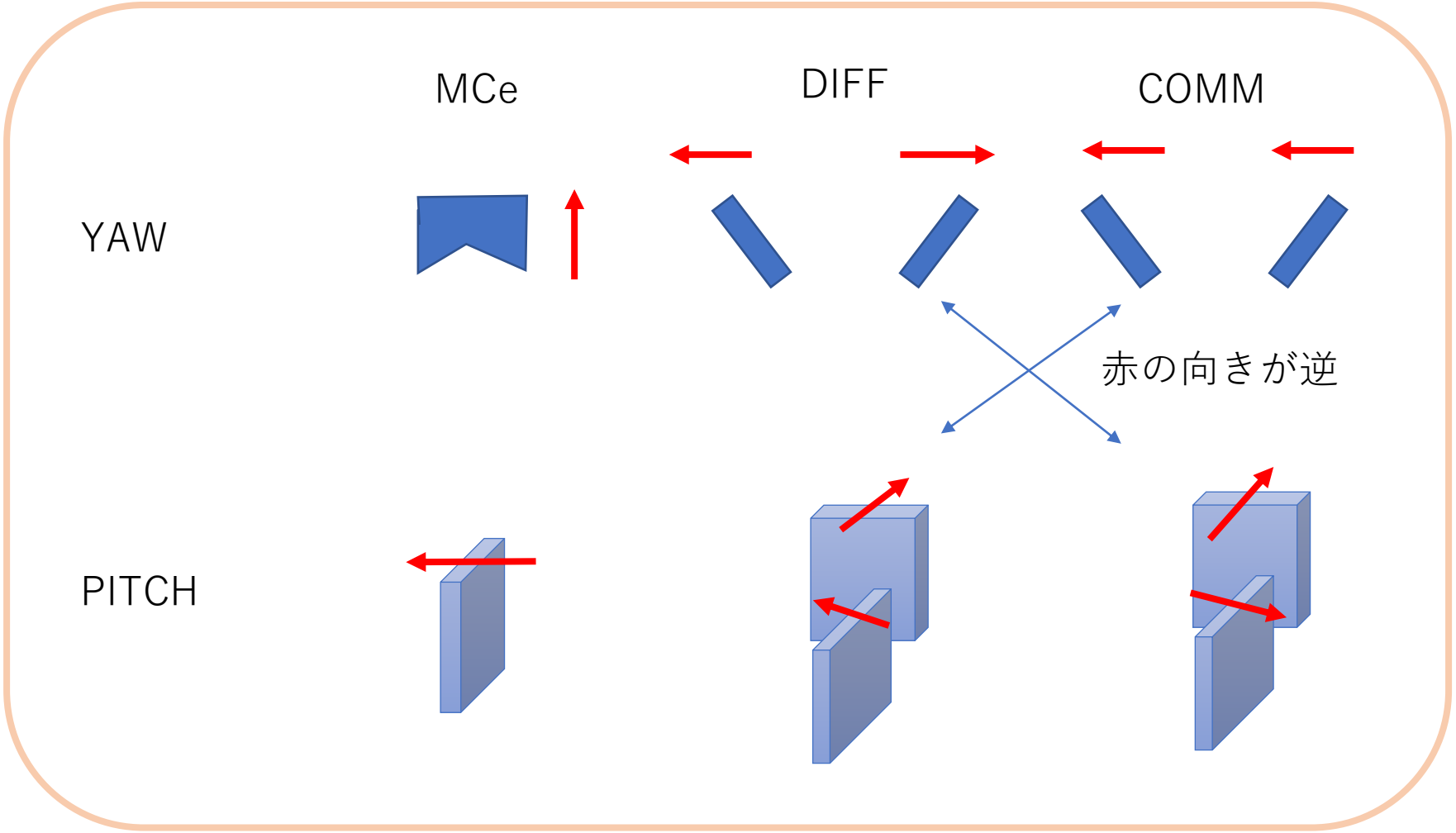
・MCE_TRANSでのDIFの大きさが違う。

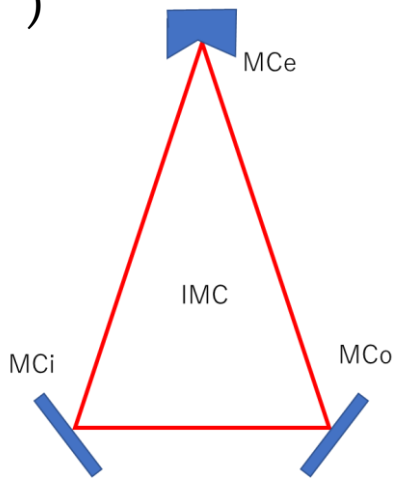
　　→引用ミスを直した。

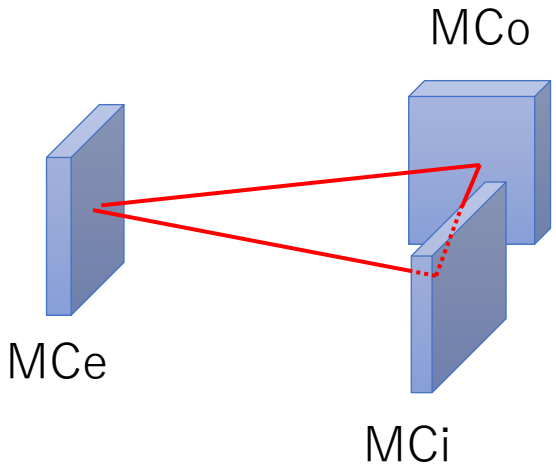
・IMMT1でwaistのtiltを異符号に？(検討中)

・MCEでもwaistのtiltを異符号に？

川添さんの論文からミラーの動きを確認。→　Finesseの向きを確認して設定を変える。
（PITCHのCOMM、DIFFの設定を逆にする。）

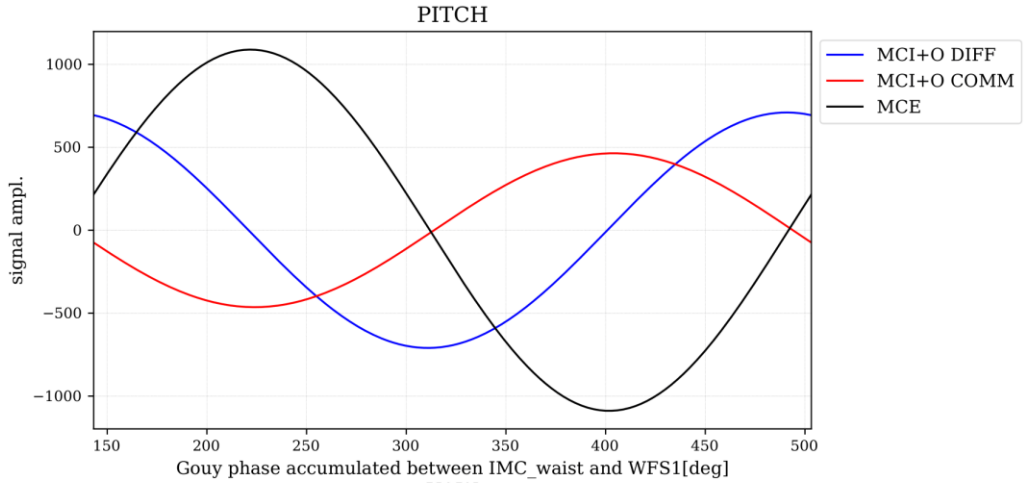


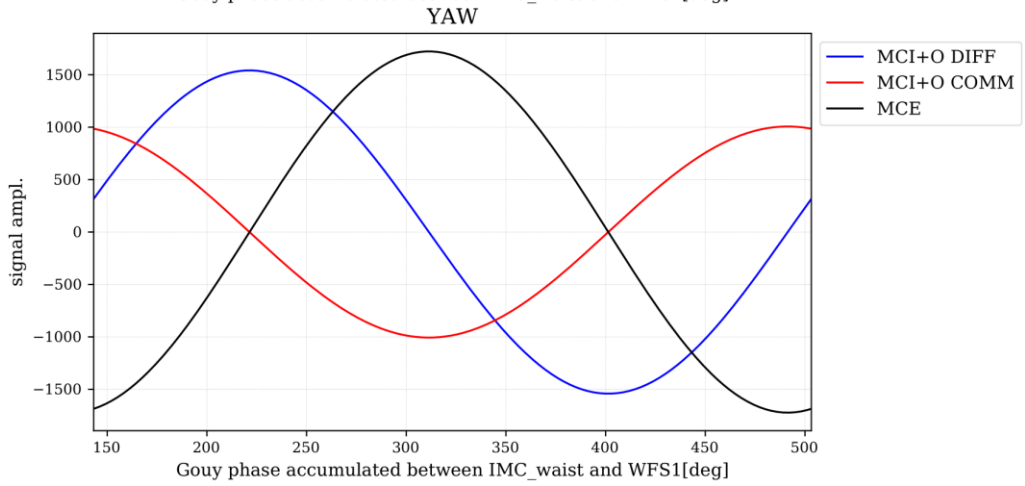


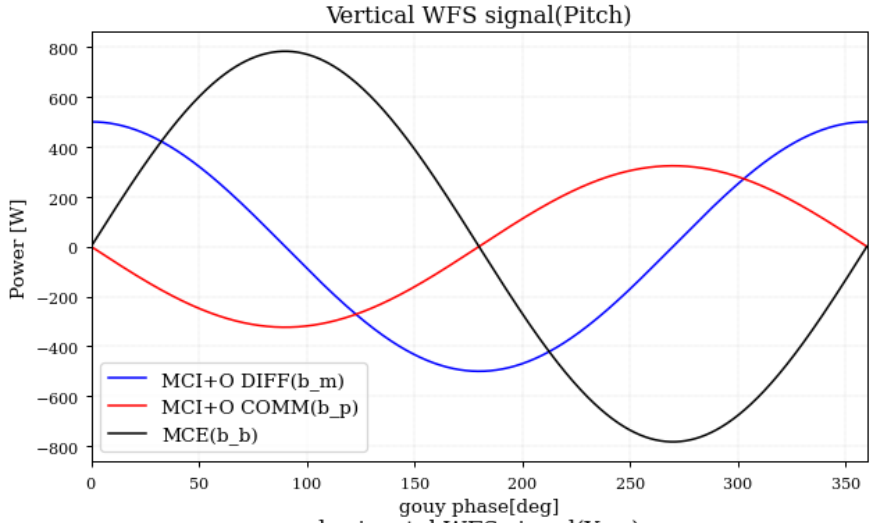


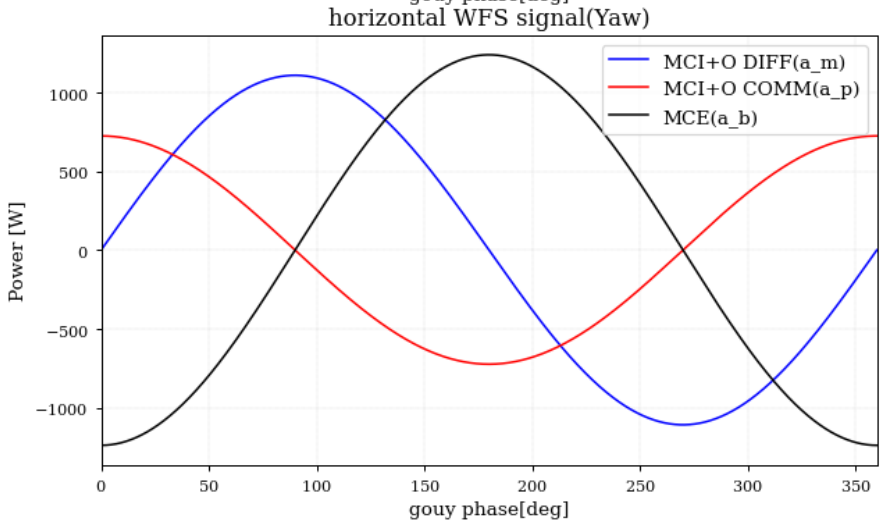
REFL_WFS

simulation **VS** 解析計算









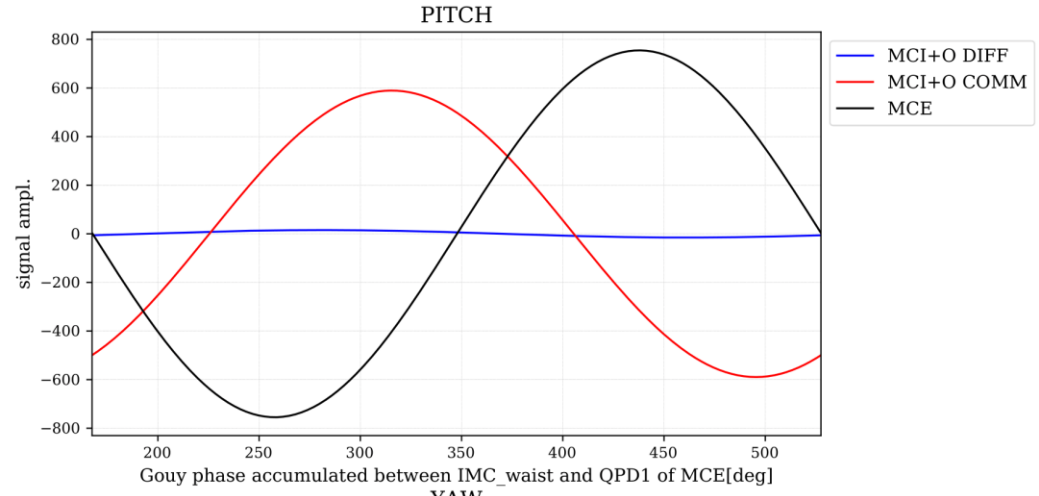
両者の違い

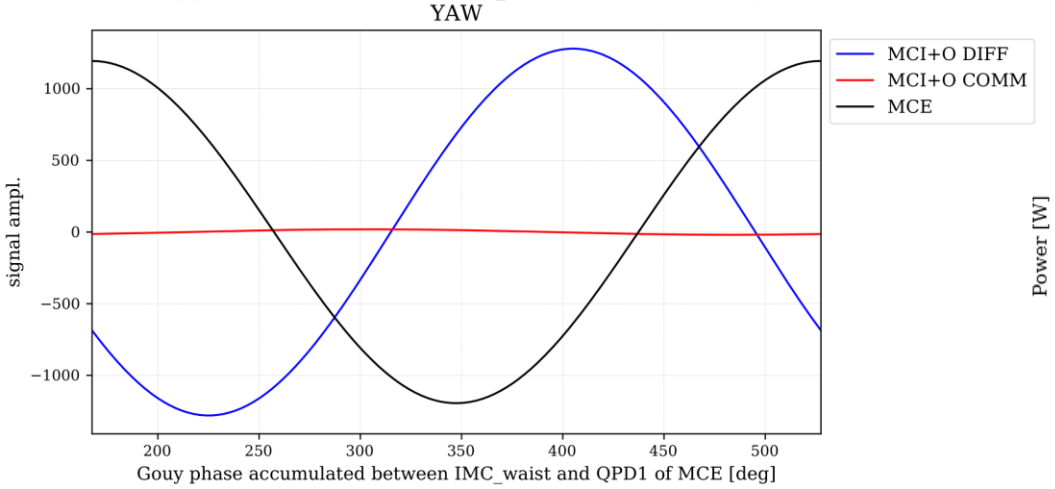
前回
PITCHのCOMM、DIFFが逆
→**現在一致**

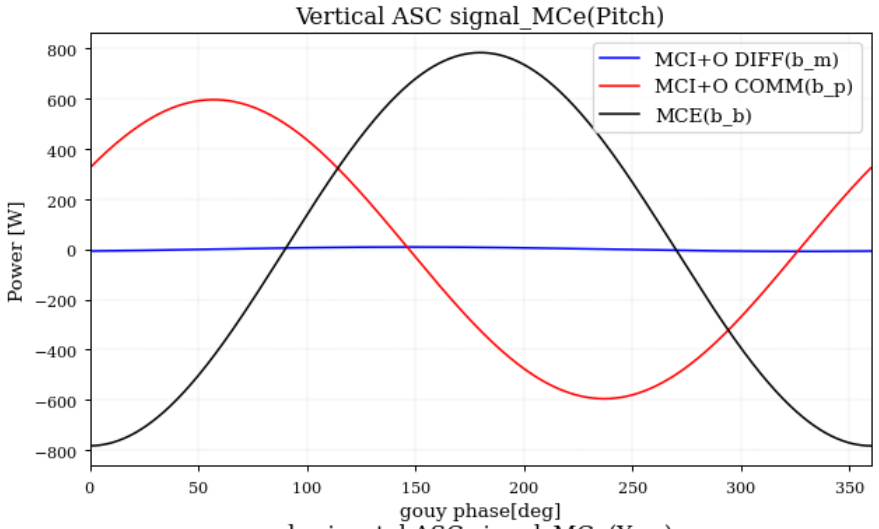
一致

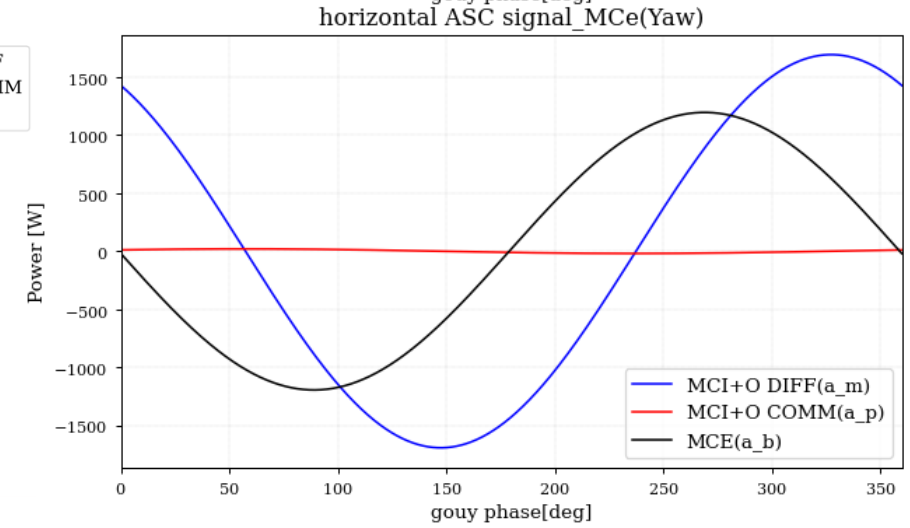
MCE_TRANS

simulation **VS** 解析計算









両者の違い

前回)
PITCHのCOMM、DIFFが逆
→現在一致

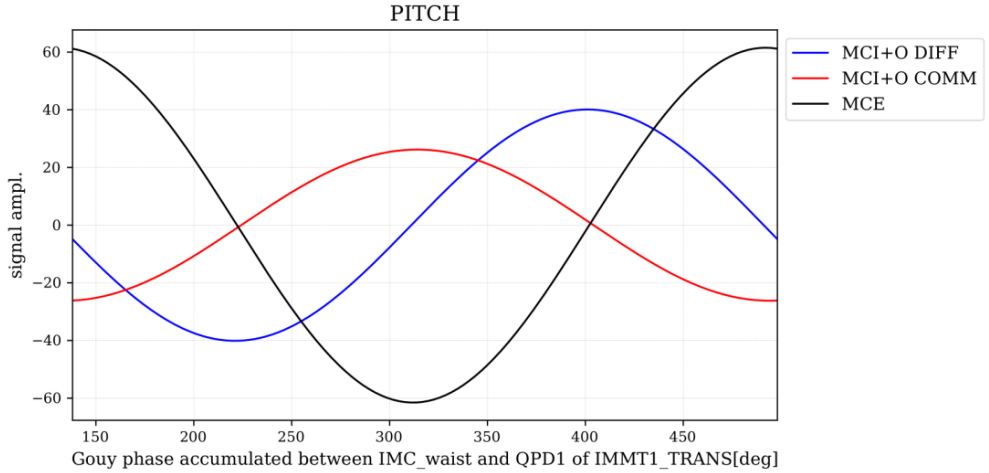
・PITCHとYAW90度が遅れている。

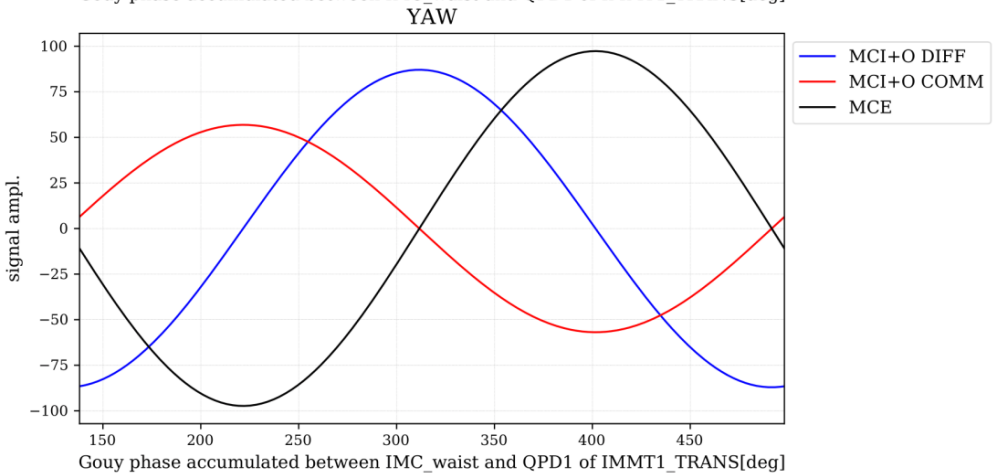
前回)
DIFの大きさが大幅に違う。
→引用ミスを直してかなり近くなった。

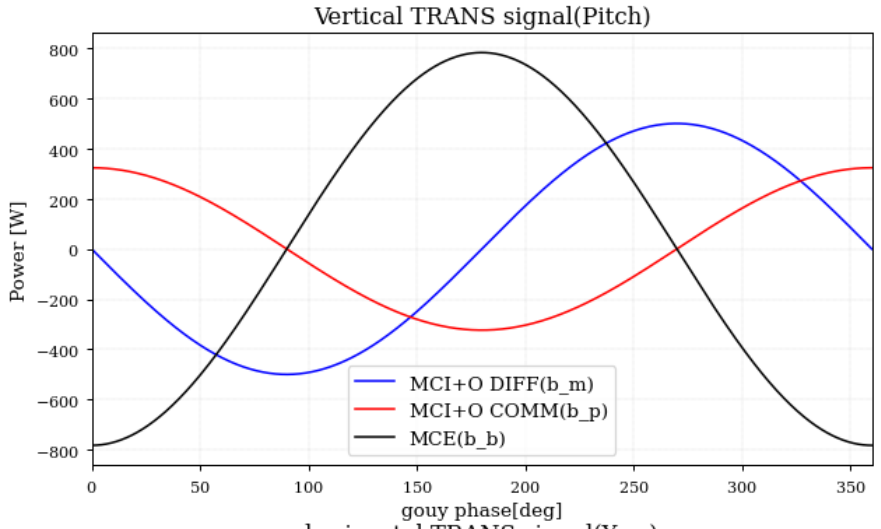
・DIF(青)が逆位相
・DIF(青)の大きさ
→間違ってるかも

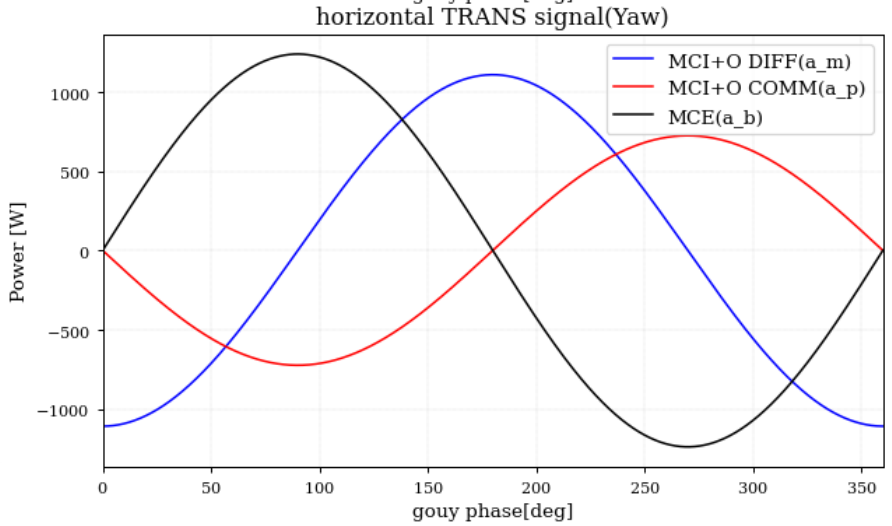
IMMT1_TRANS

simulation **VS** 解析計算









両者の違い

前回
PITCHのCOMM、DIFFが逆
→**現在一致**

COM(赤)と
MCE(黒)が逆位相

→ ウエスト付近
SHIFTに動く

COM(赤)とMCE
(黒)が逆位相

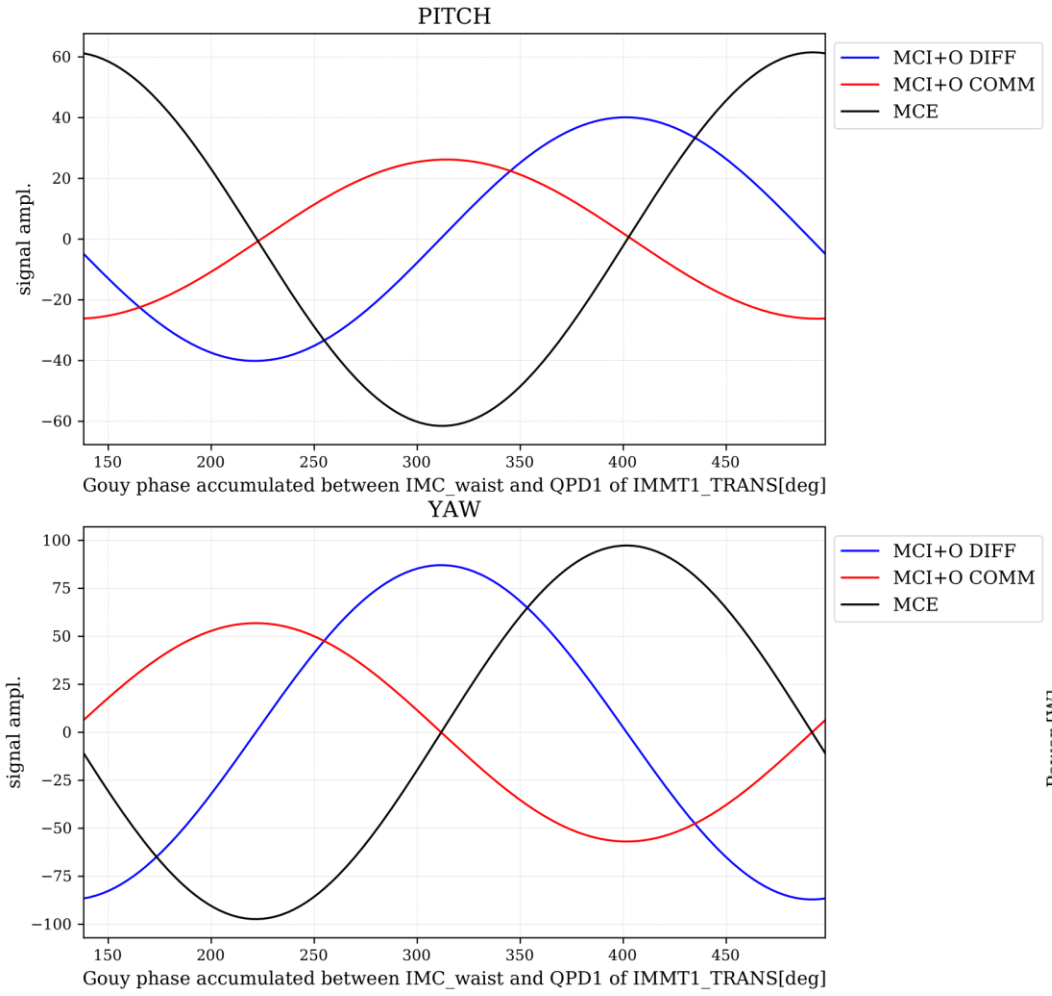
→ ウエスト付近
TILTに動く

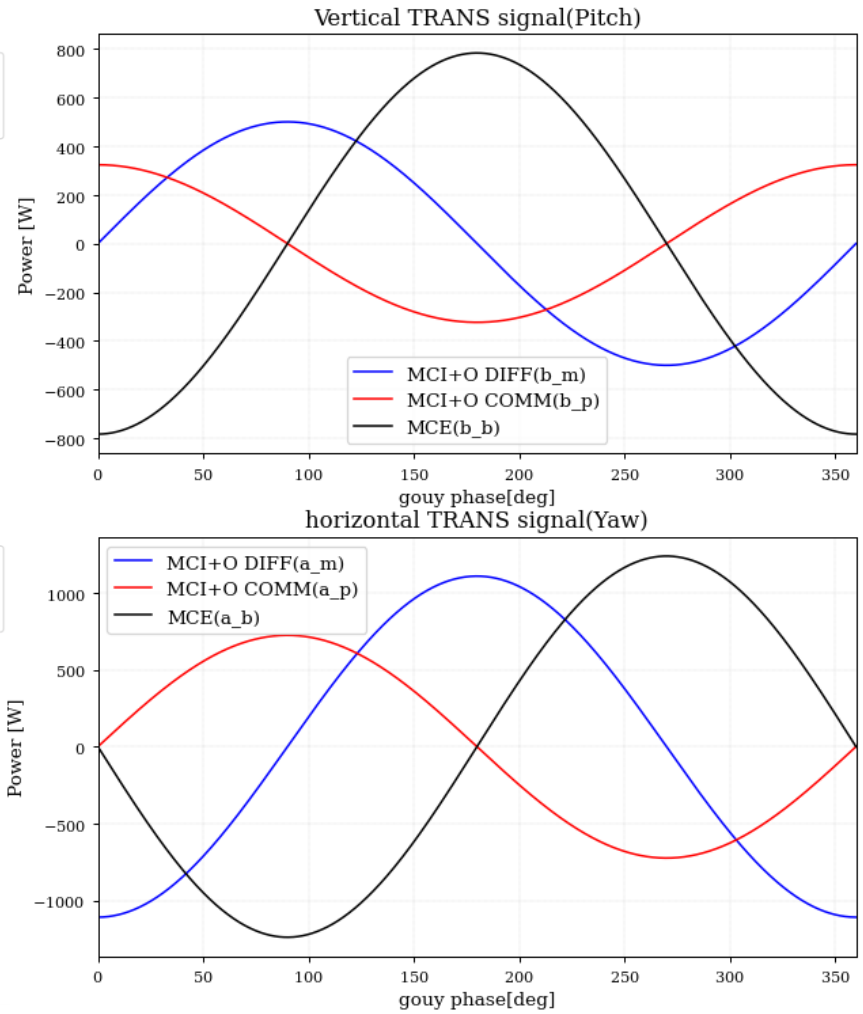
→ TILTの傾きが
逆なのでは？
(自分の考え)

IMMT1_TRANS

(引用先の)川添さんの論文はREFLに対してのwaistの傾きなのであれば
[試しに]IMMT1でwaistのtiltの変化を異符号にしてみる

simulation **VS** 解析計算





両者の違い

PITCHのみ
180度gouy
phaseシフト

なし